

はちまんたい

No. 28
2012年(平成24年)
8月2日

議会だより

主な内容

- 市議会新体制決まる.....02
- 6月定例会.....04
- 一般質問.....06



輝け、子どもたち⑨ -柏台小-

柏台小学校(井上築校長、児童69人)では7月11日、全校で八幡平遠足が行われました。低学年は、黒谷地口から源太森を通って、八幡平頂上を目指すルート。八幡平の自然に触れながら1~3年生34人は、約5キロの道のりを踏破しました。

Proud!
Japan

東日本大震災の復興を支援しよう

市議会新体制

各常任委員会などの委員構成

総務常任委員会 委員長 高橋 守 副委員長 北口 和男							
教育民生常任委員会 委員長 田中榮司夫 副委員長 渡辺 義光							
産業建設常任委員会 委員長 古川 津好 副委員長 立花 安文							

※常任委員会は、審議を効率的に行うために設置されています

議会運営委員会 (○=委員長、○=副委員長)	◎伊藤 一彦 ○米田 定男 工藤 直道 関 善次郎 高橋 守 田村 孝 瀬川 健則(議長はオブザーバー)
---------------------------	---

※議会運営委員会は、議会運営に関わることを審議決定します

議会広報特別委員会 (○=委員長、○=副委員長)	◎高橋 悅郎 ○高橋喜代春 小野寺昭一 古川 津好 渡辺 義光 立花 安文
-----------------------------	--

※議会広報特別委員会は、議会だよりの編集を行います

盛岡地区広域消防組合議会議員	大和田順一
盛岡北部行政事務組合議会議員	三浦 侃 伊藤 一彦 田中榮司夫 遠藤 公雄 渡辺 義光
岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員	関 善次郎
農業委員(議会推薦)	渡邊 正
監査委員(議会選出)	遠藤 公雄

■会派構成 ※会派は、基本的政策が一致する議員の団体のことをいい、3人以上の議員で構成しています

会派の名称	議員数	代表者	所属議員
新生会	5人	田村 孝	瀬川 健則 松浦 博幸 渡辺 義光 大森 力男
市政クラブ	5人	工藤 直道	大和田順一 田中榮司夫 工藤 剛 立花 安文
八起会	4人	高橋 守	三浦 侃 小笠原壽男 小野寺昭一
自由クラブ	3人	関 善次郎	遠藤 公雄 高橋喜代春
緑松会	3人	高橋 光幸	伊藤 一彦 古川 津好
無会派	4人	—	北口 和男 米田 定男 高橋 悅郎 渡邊 正

第3回臨時会

全会一致で可決

◆5月15日◆

●平成24年度八幡平市一般会計補正予算(第2号)
歳入、歳出それぞれ7200万円を増額するもので、歳出の全額は、凍上災害復旧測量業務設計委託料です。これまでの設計業務委託の入札結果では、予定価格の20%という低価格での落札がいくつもある。予定価格は適正だったのか。設計業務の入札には、予定価格の最低価格制度は設けていない。今後検討していく。

●字の区域の変更について
松尾地区の国有地約4万5000平方㍍を国土交通省が取得したことに伴い、「松尾寄木第一地割」に編入しようとするものです。

●平成24年度八幡平市一般会計補正予算(第1号)
歳入、歳出それぞれ973万円を増額するもので、歳出の主なものは、西根第一中学校校舎改修工事820万円です。



正副議長の改選により、議席も変更になりました(4月25日)

第2回
臨時会
八幡平市議会
新体制決まる

議長 濑川健則氏
副議長 工藤直道氏



副議長
議長
工藤直道 氏
瀬川健則 氏

このたび私は、議員各位のご推挙により、議長に再任されました。この前半の2年間も、皆さんにさまざまな面でご支援ご協力をいただきました。本当にありがとうございました。議員全員思いは一つの中で、後半2年間も市民のため、住みよいまちづくりを進めるとともに、市民に理解を得られるような議会改革を進めながら、八幡平市発展のため決意を新たに一生懸命頑張って参ります。今後とも皆さんの温かいご支援ご協力を心からお願い申上げます。

●平成23年度八幡平市一般会計補正予算(第14号)の専決処分に關し承認を求める
ことについて
専決処分で歳入、歳出それぞれ4億245万円を追加したことに対して、議会の承認を得るもので、歳出は減債基金積立金3億円、財政調整基金積立金1億245万円です。

全会一致で承認・可決

6月定例会 開催

全17議案を 原案のとおり可決

報告



松野小学校3年生が議場を見学しました(6月20日)

平成24年市議会第2回定例会(6月定例会)を6月15日から22日までの8日間、市議会議場で開催しました。今回の定例会では、12人が一般質問をしたほか、議案審議などを行い、全17議案を原案のとおり可決しました。ここでは、6月定例会の主な内容を紹介します(金額はそれぞれ1万円未満切り捨て)。

レトラック安代は、売り上げが減少。山ぶどう販売は、新商品のワイン「輝」を発

売したことなどにより売り上げ増で収支を改善。安比

塗漆器工房も、復興支援の企画店の集客や受注件数の増加により、売り上げ増で

収支を改善。

▼温泉事業部(274万円の純利益) 温泉開発は、管理費の減少で収支が改善。森乃湯は、東日本大震災などの影響で、売り上げ、収益とも減少。不動産販売は、中古物件仲介の増加により、売り上げ、収益とも改善。

八幡平トラウトガーデンは、売り上げが大幅に減少。

▼物産事業部(2363万円の純利益) 道の駅には、売り上げが前年を下回り減収。物産館あすぴーでは、売り上げが増加。テ

5540万円、工期は平成25年12月24日までです。

工事(建築・電気設備)契約を(株)遠忠と締結しようとするもので、契約金額は1億円の純利益) 温泉開発は、管理費の減少で収支が改善。森乃湯は、東日本大震災などの影響で、売り上げ、収益とも減少。不動産販売は、中古物件仲介の増加により、売り上げ、収益とも改善。

八幡平トラウトガーデンは、売り上げが大幅に減少。

▼温泉事業部(274万円の純利益) 温泉開発は、管理費の減少で収支が改善。森乃湯は、東日本大震災などの影響で、売り上げ、収益とも減少。不動産販売は、中古物件仲介の増加により、売り上げ、収益とも改善。

八幡平トラウトガーデンは、売り上げが大幅に減少。

●社団法人八幡平市体育協会の経営状況報告について
市体育協会が管理する体育施設を23年度に利用した人は、17万4950人(前年度比9350人増)でした。また、体育施設管理会計を合わせた23年度収支決算は、収入8718万円、支出8620万円となりました。

適任と決定

●人権擁護委員候補者の推せんに関し意見を求めるごとにについて
伊藤重伸さん(63)は、市4区を、再び人権擁護委員に推せんしようとするものです。

●平成24年度八幡平市一般会計補正予算(第3号)
歳入、歳出それぞれ22億5171万円を増額するものです。特別会計3会計と

水槽付消防ポンプ自動車の購入について

●西根第一中学校校舎改修工事(建築・電気設備)の請負契約の締結に関し議決を求ることについて

西根第一中学校校舎改修

賛成多数で可決

○財産の取得に関し議決を求ることについて

水槽付消防ポンプ自動車

全会一致で可決

伊藤重伸さん

●社団法人八幡平市体育協会の経営状況報告について
市体育協会が管理する体育施設を23年度に利用した人は、17万4950人(前年度比9350人増)でした。また、体育施設管理会計を合わせた23年度収支決算は、収入8718万円、支出8620万円となりました。

適任と決定

●人権擁護委員候補者の推せんに関し意見を求めるごとにについて
伊藤重伸さん(63)は、市4区を、再び人権擁護委員に推せんしようとするものです。

●平成24年度八幡平市一般会計補正予算(第3号)
歳入、歳出それぞれ22億5171万円を増額するものです。特別会計3会計と

水槽付消防ポンプ自動車の購入について

●西根第一中学校校舎改修工事(建築・電気設備)の請負契約の締結に関し議決を求ることについて

西根第一中学校校舎改修

賛成多数で可決

○財産の取得に関し議決を求ることについて

水槽付消防ポンプ自動車

全会一致で可決

伊藤重伸さん

●社団法人八幡平市体育協会の経営状況報告について
市体育協会が管理する体育施設を23年度に利用した人は、17万4950人(前年度比9350人増)でした。また、体育施設管理会計を合わせた23年度収支決算は、収入8718万円、支出8620万円となりました。

適任と決定

●人権擁護委員候補者の推せんに関し意見を求めるごとにについて
伊藤重伸さん(63)は、市4区を、再び人権擁護委員に推せんしようとするものです。

●平成24年度八幡平市一般会計補正予算(第3号)
歳入、歳出それぞれ22億5171万円を増額するものです。特別会計3会計と

水槽付消防ポンプ自動車の購入について

●西根第一中学校校舎改修工事(建築・電気設備)の請負契約の締結に関し議決を求ることについて

西根第一中学校校舎改修

賛成多数で可決

○財産の取得に関し議決を求ることについて

水槽付消防ポンプ自動車

全会一致で可決

伊藤重伸さん

●社団法人八幡平市体育協会の経営状況報告について
市体育協会が管理する体育施設を23年度に利用した人は、17万4950人(前年度比9350人増)でした。また、体育施設管理会計を合わせた23年度収支決算は、収入8718万円、支出8620万円となりました。

適任と決定

●人権擁護委員候補者の推せんに関し意見を求めるごとにについて
伊藤重伸さん(63)は、市4区を、再び人権擁護委員に推せんしようとするものです。

●平成24年度八幡平市一般会計補正予算(第3号)
歳入、歳出それぞれ22億5171万円を増額するものです。特別会計3会計と

水槽付消防ポンプ自動車の購入について

●西根第一中学校校舎改修工事(建築・電気設備)の請負契約の締結に関し議決を求ることについて

西根第一中学校校舎改修

賛成多数で可決

○財産の取得に関し議決を求ることについて

水槽付消防ポンプ自動車

全会一致で可決

伊藤重伸さん

●社団法人八幡平市体育協会の経営状況報告について
市体育協会が管理する体育施設を23年度に利用した人は、17万4950人(前年度比9350人増)でした。また、体育施設管理会計を合わせた23年度収支決算は、収入8718万円、支出8620万円となりました。

適任と決定

●人権擁護委員候補者の推せんに関し意見を求めるごとにについて
伊藤重伸さん(63)は、市4区を、再び人権擁護委員に推せんしようとするものです。

●平成24年度八幡平市一般会計補正予算(第3号)
歳入、歳出それぞれ22億5171万円を増額するものです。特別会計3会計と

水槽付消防ポンプ自動車の購入について

●西根第一中学校校舎改修工事(建築・電気設備)の請負契約の締結に関し議決を求ることについて

西根第一中学校校舎改修

賛成多数で可決

○財産の取得に関し議決を求ることについて

水槽付消防ポンプ自動車

全会一致で可決

伊藤重伸さん

●社団法人八幡平市体育協会の経営状況報告について
市体育協会が管理する体育施設を23年度に利用した人は、17万4950人(前年度比9350人増)でした。また、体育施設管理会計を合わせた23年度収支決算は、収入8718万円、支出8620万円となりました。

適任と決定

●人権擁護委員候補者の推せんに関し意見を求めるごとにについて
伊藤重伸さん(63)は、市4区を、再び人権擁護委員に推せんしようとするものです。

●平成24年度八幡平市一般会計補正予算(第3号)
歳入、歳出それぞれ22億5171万円を増額するものです。特別会計3会計と

水槽付消防ポンプ自動車の購入について

●西根第一中学校校舎改修工事(建築・電気設備)の請負契約の締結に関し議決を求ることについて

西根第一中学校校舎改修

賛成多数で可決

○財産の取得に関し議決を求ることについて

水槽付消防ポンプ自動車

全会一致で可決

伊藤重伸さん

●社団法人八幡平市体育協会の経営状況報告について
市体育協会が管理する体育施設を23年度に利用した人は、17万4950人(前年度比9350人増)でした。また、体育施設管理会計を合わせた23年度収支決算は、収入8718万円、支出8620万円となりました。

適任と決定

●人権擁護委員候補者の推せんに関し意見を求めるごとにについて
伊藤重伸さん(63)は、市4区を、再び人権擁護委員に推せんしようとするものです。

●平成24年度八幡平市一般会計補正予算(第3号)
歳入、歳出それぞれ22億5171万円を増額するものです。特別会計3会計と

水槽付消防ポンプ自動車の購入について

●西根第一中学校校舎改修工事(建築・電気設備)の請負契約の締結に関し議決を求ることについて

西根第一中学校校舎改修

賛成多数で可決

○財産の取得に関し議決を求ることについて

水槽付消防ポンプ自動車

全会一致で可決

伊藤重伸さん

●社団法人八幡平市体育協会の経



まつうらひろゆき
松浦博幸 議員

放棄地と転作田の有効利用

制度を活用し解消に努める

松浦議員 耕作放棄地の現状と今後の行政指導は。

市長 23年度現在で確認している耕作放棄地は、482筆・127haである。本年度はこれまでの調査箇所に加えて、市全域の農地の地図を作成するための調査を行う。調査結果を受けて所有者へ耕作などの意向調査を行い、その結果を基に耕作放棄地解消計画を策定する。放棄地所有者には制度を周知していきたい。

松浦議員 23年度の転作面積は目標を111ha上回ったが、収益的面積は。

市長 収益的面積は、調整水田等作物の不作付地と自家用野菜など自家消費分を除いた交付対象面積で1534ha、転作田の66%だった。本年度は、互助会拠出

質問した事項

- ・耕作放棄地と転作田の利用について
 - ・各種集団検診について
 - ・〔アンケートについて〕
 - ・〔不登校防止対策について〕

市長 松浦議員 市では各種集団検診についても制度を有効に活用しながら解消に努めたい。
受診率向上対策は、生活習慣病予防検診について、はじめ6項目、40歳から55歳までの人を対象とする検診しているが成果は。

金の見直しを行い、不作付地を解消して主食用米の作付けに転換してもらうよう春の営農座談会で説明してきました。

耕作放棄地の解消と転作田の利用は農業生産の基盤となる農地の確保と有効利用を図る上で重要である。本年度策定する地域農業マスタープランに地域の中心となる経営体として認定農業者などを位置付け、農地の集積を進めるとともに、現在遊休化している農地に

特定健診、75歳以上の長寿健診を実施している。23年度の受診率は、対象者の20～30%台となっている。
松浦議員 受診率を上げるための対策は。

自営業の人も受診できるような体制づくりに努めるほか、各行政区の保健推進員には、地域での受診の推進や大腸がんの容器の配布などに協力いただき、検診受診率の向上に取り組みたい。



受診率向上を図るため、岩鷲神ハチマンタラーを使った診ポスターを年度から作成しました

平成20年4月1日に市職員が市民へ決意表明し 「八幡平市職員心得5力条」

平成20年4月1日
渡辺議員
日に市職員一同が市民へ決意表明した八幡平市職員心得得5カ条を職員一人一人が自覚し、市民サービスに努めていることに感謝する。
一方で、地域づくり活動などに職員の参加が少なく、顔が見えないという市民の声や課題も聞こえる。職員の意欲喚起をどう指導していくか。
市長 市民から市職員としてのるべき行動や接遇などについて指摘されている常にこの5カ条を頭に入れ職務に精励し、市民サー

渡辺議員 「職員が変われば市民が変わる」「議会が変われば市役所が変わる」と考える。議員も職員も心得5カ条を率先垂範し、実際に努めなければならない。**企画総務部長** 職員も地域の一員という立場を自覚し積極的に地域活動へ参加するよう周知していきたい。

渡辺議員 八幡平市の名譽市民は、2人だと認識している。名譽市民の顕彰事業や教育事業に取り組む考えは。
市長 八幡平市名譽市民は、旧松尾村名譽村民の故・佐藤喜美子さんと、旧西根町名譽町民の故・江間章子さんの2人である。市のホームページや広報の特集などで紹介を検討する。また、平館生誕の石川啄木の父・一楨の顕彰も考えたい。

職員心得5力条の実践と強化 研修など通じて周知徹底する

A portrait of Kazuo Inamori, an elderly man with white hair and glasses, wearing a dark suit and white shirt. He is looking slightly to the side with a thoughtful expression.

わたなべよしみつ
渡辺義光 議員

質問した事項

- ・市職員心得 5 力条の徹底について
 - ・議会答弁の説明責任と報告について
 - ・名誉市民、先人の顕彰と教育について

ビスの向上に努めるよう指導し周知徹底する。

などで報告し、市民の負託にこたえる議会づくりに当

ビスの向上に努めるよう指導し周知徹底する。

渡辺議員 市職員のやる気を引き出し、意識改革システムの構築やマネジメントが首長の役割と考えるが。

市長 市民サイドに立つて職員の意識改革を行い、法律や市民意識の壁をクリア

などで報告し、市民の負託にこたえる議会づくりに当局と議会で一体的に取り組むべきと考えるが。

市長 議会答弁における内容に大きな変更が生じた場合は、速やかに説明や報告し、議会への説明責任を果たして議会の信頼にこたえ



きた ぐち かず お 北口和男 議員

市民の防災意識高めるために

生活段階に応じた研修を実施

地域防災の「核」となる人材研修は

質問した事項

- ・地域防災計画について
 - ・防災・減災ニューディールについて

なる人材への研修や地域防災訓練については。**市長** 婦人消防協力隊や3地区の防火推進協議会のリーダーの研修のあり方を教育委員会と連携して検討する。地域防災訓練については、地域防災計画の概要版を作成して市民に配布す

北口議員 昨年の東日本大震災発生以来、日本列島は地震の活動期に入り、首都

A wide-angle photograph showing a concrete bridge spanning a river. A worker wearing a yellow safety vest and a white hard hat walks away from the camera towards the right side of the frame. On the bridge, a white pickup truck is parked near a small building or gate. The background features a dense forest of tall evergreen trees. In the distance, a tall metal lattice tower stands against a clear sky. The overall scene suggests a rural or industrial setting.

大規模災害に備えた道路や橋の修繕が必要となっています
(写真=市道下愛宕線七時雨橋:耐震補強工事)

北川議員 見直しを行つた「八幡平市地域防災計画」の中の防災知識の普及で、幼稚から中学生、保護者への防災教育の指導はどのようなものか。

とともに、市職員の行動計画マニュアルを作成した上で、訓練に備えたい。

直下型地震などが懸念されている。「命を守る公共投資で幅広い経済効果」として公明党が打ち出した政策「防災・減災ニューディール」は、地域の産業活性化につながるが見解は。

から橋の長寿命計画の策定
共施設全般の修繕計画策定
に着手している。また、公
に向けた検討に入りたい。
今後、市の多くの施設が耐
用年数を迎える、更新費用が
必要なことから、「防災・



雪冷房リンドウ培養育苗生産施設を活用し、親株の安定供給を図ることが課題となっています（写真＝同施設の培養室）

渡邊議員 現在開発中の、ニンドウの品種改良などの研究状況は。

市長 生産者からの要望である種子の供給体制の整備は、本年度から供給のめどがついた。今後も雪冷房リンドウ培養育苗生産施設を活用し、最重要課題として親株の安定供給を図りたい。

渡邊議員 リンドウの品種登録の状況は。

花き研究開発センター所長 國際的な品種登録の期間は、植物新品種保護國際同盟（UPOV）に加盟する前は18年、日本が加盟し、契約を締結した平成3年以降の花は25年である。

花き研究開発センター所長 登録期間終了後は、今の法律の範囲では、どこの国で誰がつくってもよい状況になり保護はできない。市で登録している品種では、早いもので「メルヘンアシロ」と「シャインブルーアシロ」が5年後に期間が終わる。

渡邊議員 花き研究開発センターを独立行政法人化の考えはあるか。

市長 メリット・デメリットを含め今後検討していく

各種登録期間終了後の対応

期間終了後は保護できない

品種登録期間終了後の対応

A portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt and tie. He is looking slightly to his left.

わたなべ ただし
渡邊 正議員

- ・八幡平市花き研究開発センターの今後について
- ・「教育指導について」

り組み課題は。

渡邊議員 DNA品種識別

まんたい 議会だより 平成24年8月 No.28 10

まい た さだ お
米田定男 議員

質問した事項

- ・公民館分館問題について

分館の不公平論は明白な誤り

分館廃止は新市としての方針

米田議員 質問の目的は、松尾地区公民館の分館の存在についての政治的不公平論の誤りを正すことであり、分館活動の発展の方向性を探求することにある。

松尾地区で分館というサービスを受けてきたことは、財政的に見ればその他のサービスが受けられなかつたということである。それは、公民館が分館方式ではない西根・安代地区では、それに見合う分の他のサービスを受けてきたということでもある。

市長 公民館施設の管理運営と公民館事業のあり方は、合併協議会で「新市において調整する」であった。松尾地区の公民館の分館を自

変わるのか。また、経費節減はいくらか。

市長 経費節減を図る目的ではなく、合併によって地域を活性化を阻害することになつてはならないということで、コミュニティセンター化に取り組み、地域を強化する。

企画総務部長 意見交換会などを行いながら育成していくといった。企画会の資料に、八幡平市以外の人のいない町並みや、しょんぱりした人の写真などが掲載されているが、このような資料は

治集会所として位置付け、自治会で管理運営を行うという方針である。

米田議員 分館のあり方に特のものであり、今後の発展方向がどうあるべきかを検討するは当然である。しかし、検討の出発点がいう立場ではない。

松尾地区的分館方式は独自のものであり、今後の発展方向がどうあるべきかを検討するは当然である。

市長 支所的なものを設置していくのが地域コミュニティを維持していくためです。

地域振興の拠点施設として公民館のあり方が検討されています
(写真=松尾地区公民館野駄分館)公民館長などを対象に開かれたコミュニティセンター化などに関する説明会
(6月26日、西根地区市民センター)

関議員 地区公民館をコミュニティセンターに移行して地域に指定管理をさせた場合、地域はどのように

変わることか。また、経費節減はいくらか。

市長 経費節減を図る目的ではなく、合併によって地

域の活性化を阻害することになつてはならないということで、コミュニティセンター化に取り組み、地域を強化する。

企画総務部長 意見交換会などを行いながら育成していくといった。企画会の資料に、八幡平市以外の人のいない町並みや、しょんぱりした人の写真などが掲載されているが、このような資料は

天然更新を活用した遊休牧草地の森林化の進ちょく状況は。

市長 23年度までの森林化の確認は、丑山牧野は8・7ha、根石牧野は8・7haとなり。29年度までに返地に係わる森林化事業を終了することとしている。

関議員 森林化以外の一部を分収造林とし植林を行つてはどうか。補助事業を活用することで行政の負担が少なく、市の財産として将来に残すことができる。

副市長 草地の現状を把握して、どのような土地利用が良いか検討したい。

関議員 合併当時、市の人

地域をさらに強化するため

地区公民館指定管理の目的

せき ぜん じ ろう
関善次郎 議員

質問した事項

- ・地区公民館について
- ・遊休牧草地について
- ・人口減少対策について
- ・[放射能について]

誤解を招く。八幡平市内の状況写真を掲載すべきでは。ろがあるのであれば誤解を与えないように進める。

企画総務部長 極端なところは3万1766人だったが、4月30日現在、2万8623人と6年7ヶ月で3143人減っている。人口減少の食い止め策をどのように進めているか。

関議員 天然更新を活用した遊休牧草地の森林化の進ちょく状況は。

市長 23年度までの森林化の確認は、丑山牧野は8・7ha、根石牧野は8・7haとなり。29年度までに返地に係わる森林化事業を終了することとしている。

関議員 若い人たちに「どのような仕事をしたいか」や「どのくらい収入があればいいか」などのアンケートをとることも必要では。や「どのくらい収入があればいいか」などのアンケートをとることも必要では。市に何を望むかを捉え、定住化促進事業を進めたい。

関議員 合併当時、市の人

人口減少対策は

人口は3万1766人だったが、4月30日現在、2万8623人と6年7ヶ月で3143人減っている。人口減少の食い止め策をどのように進めているか。

みうら ただし
三浦 谷議員

質問した事項

- ・地域医療と西根病院について
- ・空き家対策について

救急医療にスマートICの導入

ネクスコNEXCOや国・県へ要請する

三浦議員 平成21年に策定された「八幡平市地域医療の指針と展望」では、救急医療の交通体系整備として、田山地区の輸送時間の短縮を図るため、東北自動車道を図るために、スマートIC（インターチェンジ）設置が示されている。



救急医療の交通体系整備を図るためにもスマートICの早期完成が待たれる田山PA

三浦議員 空き家の実態調査と空き家対策条例の策定についての検討は、20年度に実施された住宅土地統計調査の結果では、推計で1860戸の空き家が市内にある。条例化の検討については、空き家であっても、個人の財産権に関する問題であり、今後十分な内容の検討が必要である。

NEXCO：平成17年10月1日に日本道路公団の民営化により発足した高速道路会社3社の愛称
スマートIC：高速道路の本線やSA（サービスエリア）やPAなどから乗り降りができるように設置されているETC専用のインターチェンジ

牧草地の放射能汚染対策 農家負担にならないよう対処

くどう つよし
工藤 剛 谷議員

質問した事項

- ・放射能対策について
- ・ICT利活用教育について
- ・交通事故防止について

工藤議員 自己管理の牧草地で、放射能の影響を受けている畜産農家の現状と市の対応は。

市長 市内の23年産牧草の利用自肅要請農家は28戸のうち、除染対象農家は14戸、面積は41haである。この28戸に対しても代替粗飼料を継続して確保し、14戸の除染対象草地は、更新と除染方法について農家の希望を聞き取りとともに、農家が保有する利用自肅牧草の運搬と焼却は市が実施して、農家の負担にならないよう対処する。

ICT利活用した教育のあり方は

工藤議員 ICT（情報通信技術）を使った教育についての考えは。

工藤議員 整備したパソコンや電子黒板などは、授業で十分に活用されているか。

教育次長 学校によって差がある。指導体制を強化している。

市内小中学校の授業に活用されている電子黒板
(写真=大更小学校)

たなかえいしお
田中榮司夫 議員

質問した事項

- ・市の発展（学力ベース）対策について

学力は市の最大の発展要素

小学生はほぼ全国水準

田中議員 市内児童生徒の実態から「ゆとり教育」での学力低下や学力格差などの弊害が見られないのか。見られるとしたらその対処方法は。

教育長 平成10年に改訂された学習指導要領で教育を受けた児童生徒と現在の学習指導要領で教育を受けている児童生徒を比較した状況を示すものはない。近年の市内の児童生徒の学力の実態は、小学生はほぼ全国水準に達している一方で、中学生はやや下回っている状況が続いている。この結果を受け、昨年度から同一中学校区の小中学校の教員が連携し、指導内容や指導方法を見いだして学力向上に取り組んでいる。

田中議員 恵まれた環境の下で、校長をはじめ教師集団での教科指導などにも甘さがあるのではないか。

教育長 学校教育の中で働くことについてを学ぶことは、社会科見学や理科見学、職場体験など体験的学習の機会を提供している。また、小中学校だけでなく保育所や放課後児童クラブで行わ

市教育振興運動の中でも多くの体験活動が実施されています
(7月6日、八幡平市子どもフェスティバル)**田中議員** 東京電力は、畜産農家からの賠償請求で、

高橋議員 市内の放射能被害と損害賠償の状況は。いわての賠償請求に対し、13億9000万円が支払われた。そのうち八幡平市内は6100万円である。商工観光業者は、風評被害を含め2億9600万円の被害で一部の業者は6月に請求する予定と聞いている。市の損害賠償については、6月中に人件費や放射能測定経費など501万8226円を東京電力に請求する。

高橋議員 東京電力は、畜産農家からの賠償請求で、

市長 東京電力からJA新潟は6100万円である。商工観光業者は、風評被害を含め2億9600万円の被害で一部の業者は6月に請求する予定と聞いている。市の損害賠償については、6月中に人件費や放射能測定経費など501万8226円を東京電力に請求する。

高橋議員 東京電力は、畜産農家からの賠償請求で、

市長 全国市長会でも国に對しての重点事項として要望している。県が中心となり、県と一体で進める体制を作つてもらいたい。

高橋議員 学校給食の放射性セシウム測定器を購入するが、それ以外の農産物や山菜を測定する機器も購入するべきでは。農産物や山菜については、専門業者の技術を活用していく。

高橋議員 大更地区狐塚、渋川地区鞍掛の市有林が伐採されたが、今後の活用は。市長狐塚については、再造林は考えていない。市の大きなテーマである定住化地の利用策を検討したい。鞍掛については、福島第一原子力発電所事故を受け、畜産振興などの活用について、JA新潟いわてや国、県と協議していく。

市長 狐塚については、再造林は考えていない。市の選択肢とし、優良な市有地の利用策を検討したい。

県が体制づくりを担うべきだ
市も賠償請求に関わるべきだたかはしあつろう
高橋悦郎 議員

質問した事項

- ・放射能対策について
- ・市有地の活用について
- ・上水道について

上水道配管のアスベスト対策は

高橋議員 市の上水道で石綿（アスベスト）管の使われている箇所が残っているがその対策は。

市長 石綿管の使用は23年

度末で、松尾地区が864組、西根地区は461組ある。水道水の飲用による健康影響には問題がないとされているが、強度的に弱いことから、本年度から西根地区の一部を除き配管を更新していく。



伐採が行われた渋川地区鞍掛の市有林。今後、有効な活用方法を検討していきます

れています。「総合教育支援事業」の活用や八幡平市教育振興運動の中での各実践区、実践班の活動で幅広い分野の体験活動を実施し、働く

ことへの興味が広がっていくと考えている。多様な学習機会を提供し、将来の八幡平市を担う子どもたちを育てていきたい。

して、どこまでが十分・不十分といえるのか明確な判断基準が存在しないので、評価が難しい。学力の問題、不登校や非行などの生徒指導上の問題など課題を抱えている。

田中議員 学校教育だけではなく、社会教育全般で「働くこと」のために「学ぶこと」の学力観や職業観が社会教育に展開されなければならない。指導体制のシステムはどうになっていくのか。

教育長 教育現場の特性と

田中議員 学校教育だけではなく、社会教育全般で「働くこと」の学力観や職業観が社会教育に展開されなければならない。指導体制のシステムはどうになっていくのか。

議会の動き（4月25日から 7月23日まで）

4月

- ▶ 25日 議会運営委員会、市議会第2回臨時会

5月

▶ 8日 議員全員協議会、市政調査会理事会

▶ 9日 全国自治体病院経営都市協議会第70回理事会
・第40回定期総会

▶ 11日 総務常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会、議会運営委員会、議会改革調査特別委員会、議員全員協議会、市政調査会総会

▶ 15日 議会運営委員会、市議会第3回臨時会、議会改革調査特別委員会、議会広報特別委員会

▶ 16日 愛媛県四国中央市議会教育厚生常任委員会来庁

▶ 22日 全国温泉所在都市議会議長協議会第41回総会

▶ 23日 全国市議会議長会第88回定期総会

▶ 24日 議会改革調査特別委員会小委員長会議

▶ 29日 市政調査会理事会、総務常任委員会所管事務調査

6月

▶ 5日 教育民生常任委員会所管事務調査、産業建設常任委員会所管事務調査に係る盛岡市議会観光対策特別委員会との意見交換会

▶ 7日 産業建設常任委員会所管事務調査

9月定例会の日程(予定)

期日	内容
9月14日(金)	議案上程ほか
9月15日(土)	休会
9月16日(日)	休会
9月17日(月)	休会
9月18日(火)	一般質問
9月19日(水)	一般質問
9月20日(木)	一般質問
9月21日(金)	議案審議、決算特別委員会
9月22日(土)	休会
9月23日(日)	休会
9月24日(月)	決算特別委員会
9月25日(火)	決算特別委員会
9月26日(水)	決算特別委員会
9月27日(木)	休会
9月28日(金)	議案審議、請願・発議案審議

※詳しい日程は決まり次第、市議会ホームページ
(市ホームページ内)に掲載します。

傍聴など詳しくは、議会事務局(☎76-2111、内線1321~1323)まで問い合わせください。

■おわびと訂正 議会だよりNo.27・2箇、職員懲戒審査委員会委員の「小野寺千歳」さんは、「小野寺千誠」さんの誤りでした。関係する旨さまにおわびし、訂正します。

- ▶11日 議会運営委員会、市政調査会臨時総会、議会改革調査特別委員会小委員長会議
- ▶14日 全国過疎地域自立促進連盟第117回理事会
- ▶15日 市議会第2回定例会(～22日)、議会改革調査特別委員会、議会広報特別委員会
- ▶18日 教育民生常任委員会、産業建設常任委員会
- ▶19日 総務常任委員会
- ▶20日 議会運営委員会
- ▶22日 議会改革調査特別委員会第1・2・3小委員会、議会運営委員会
- ▶29日 議会改革調査特別委員会小委員長会議、議会広報特別委員会

7月

- ▶3日 民主党県連、復興庁岩手復興局に対する実行運動、新生会・無会派(北口和男議員)合同研修(～6日)
- ▶5日 全国市議会議長会基地協議会第77回理事会、島根県安来市議会総務企画常任委員会来庁
- ▶10日 議会改革調査特別委員会第2小委員会
- ▶11日 東北市議会議長会理事会・実行運動、議会改革調査特別委員会第3小委員会
- ▶13日 県選出国会議員に対する実行運動
- ▶17日 市政クラブ会派研修(～19日)
- ▶19日 緑松会・自由クラブ・無会派(渡邊正議員)合同研修(～22日)
- ▶23日 議会広報特別委員会

議会改革調査特別委員会

議長を除く議員23人で構成(議長はオブザーバー)
委員長=古川津好 副委員長=工藤 剛

3月定例会で、議長を除く議員23人で構成する「八幡平市議会改革調査特別委員会」を議員発議で設置しました。同委員会は、議会改革に向けた調査および検討を行うために設置されたもので、閉会中も継続して調査などを行うことにしています。

5月11日に開かれた委員会で、委員長に古川津好委員、副委員長には工藤剛委員を互選。5月15日に同委員会に3つの小委員会を設置するなどを、6月15日には、38の調査事項と各小委員会への割り振りを決定しました。

各小委員会では、それぞれの調査事項に期限を定め、さまざまな課題への検討に取り組んでいます。

政務調査費の収支報告

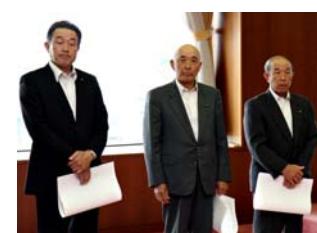
市では、議員が調査研究するための経費の一部として、議員1人当たり月額2万円の「政務調査費」が交付されています。同調査費は、条例で定めた使途基準に基づく使用が義務付けられ、市政に関する調査研究に該当しない「交際費的経費」や「政党や政治団体の活動経費」、「飲食費」、「選挙活動経費」などは対象となっていません。

23年度に各会派などに交付された同調査費の収支報告額は下表のとおりです。平均使用率は99.2%（22年度=97.0%）で、1会派と1議員から合計80,016円（前年度比81,148円減）が市に返還されました。

●表 23年度の政務調査費の收支報告額

	新生会	八起会	自由クラブ	緑松会	米田定男	高橋悦郎	北口和男	合計
所属人数	10人	4	4人	3人	1人	1人	1人	26人
交付額(A)	2,400,000円	960,000円	960,000円	720,000円	240,000円	240,000円	240,000円	5,760,000円
使 用 状 況	1 調査研究費	1,586,210円	646,208円	887,752円	665,994円			3,786,164円
	2 研修費	631,825円	9,000円			61,622円	54,340円	141,885円
	3 会議費							0円
	4 資料作成費			4,880円				4,880円
	5 資料購入費	55,717円	19,300円	67,884円	44,740円	24,700円	22,685円	25,355円
	6 広報費					156,712円	156,712円	
	7 事務費	127,494円	310,459円				10,500円	2,010円
	8 その他							0円
	使用合計額(B)	2,401,246円	984,967円	960,516円	710,734円	243,034円	244,237円	169,250円
利用率	100%	100%	100%	98.7%	100%	100%	70.5%	99.2%
返還額(A) - (B)	0円	0円	0円	9,266円	0円	0円	70,750円	80,016円

※使用合計額(B)が交付額(A)を超えている場合、使用率は100%・返還額は0円と表示しています



(写真右から)瀬川健則議長、
松浦博幸議員、高橋悦郎議員

全国市議会議長会表彰 長年の議員活動 功績をたたえる



(7月17日、白坂観音大祭)

先人から受け継ぐ(9) の野口鹿踊

野口鹿踊は、江戸時代に伝わり、宮古市山口黒森神社に伝わる神楽（重要無形民俗文化財・黒森神楽）に由来するといわれています。踊りや太鼓は敏捷闊達を特徴とし、昔からお祝いごとや神仏の供養と祈願の行事として知られています。

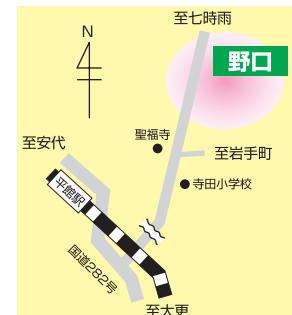
毎年7月17日に聖福寺で行われる白坂観音大祭で披露され、秘仏である七面觀

音立像（市指定文化財）が観音堂から本堂に移るときに、観音持ちが野口鹿踊りの輪に入り、邪氣から仏を守ります。

昔は男性たちで踊られていましたが、今は女性たちの手で継承されています。

◎保存会代表 佐々木きみゑさん

◎市指定無形民俗文化財指定日 昭和56年3月25日（旧西根町指定）



■議会広報特別委員会

委員長	高橋 悅郎	(前列中央)
副委員長	高橋喜代春	(前列左)
委員	小野寺昭一	(前列右)
	古川 洋好	(後列中央)
	渡辺 義光	(後列左)
	立花 安文	(後列右)

あとがき

4月25日に開かれた第2回臨時会で、新しい広報特別委員会の委員6人が選任されました。議会で決定したことや議員の活動などを「議会だより」を通して分かりやすく伝えていきますので、今後ともご愛読よろしくお願いします。